

# わたし 私たちの地球と水について考えてみよう

年 組

名前



地球上の自然は  
みんな水によって  
つながっているのね。

大地も空も海も  
つながって  
いるね。



水の利用や地球かんきょうについて、学習しましょう。

## 私たちの地球はつながっている

水は、地球全体ですがたかたちを変えてじゅんかんしています。

①海や川、湖、地表の水があたたまると、その一部が水蒸気となって空へのぼります。②水蒸気が冷やされると小さな水のつぶになって集まり、雲となり、③雨や雪になって地上に降ります。④雨や雪は土の中にしみこんで、地下水になるほか、川や湖、海へ流れます。

森林は「緑のダム」といわれ、陸上に降った水を植物や地中にたくわえて保つ、水のじゅんかんを支える大切な働きをしています。

私たちは、この水の一部を資源として利用しています。じゅんかんをこわさないように水を利用すれば、世界全体として水不足は起きません。しかし現実には、私たちの活動が水のじゅんかんに大きなえいきょうをおよぼしています。



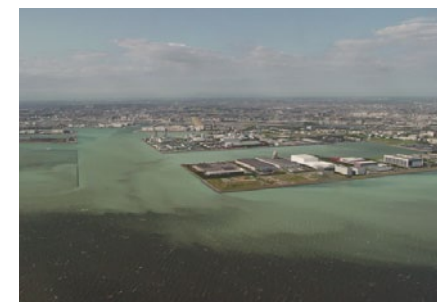
## 水のかんきょうを大切に

人間の活動によって出た排水は、水のかんきょうにさまざまなえいきょうをあたえています。農業や工業などの産業で使う水のほか、私たちが毎日の生活で使う台所やお風呂、トイレなどの水は、下水道を流れて、川から海へ流れます。せんざいなどにふくまれるちっ素やリンなどの物質が海水に増えて栄養分が多くなると、それをエサとする小さなプランクトンが大量に発生し、海が赤くなる「赤潮」が起きます。また、赤潮のプランクトンの死がい分解されてきた酸素の少ない水が海面に現れる、「青潮」が起きることもあります。どちらも、よごれた水を流すことによって起きるものです。

赤潮や青潮などが起きますと、酸素不足で多くの魚が死んでしまうことがあり、漁業にえいきょうをあたえます。



あかしお とうきょう湾  
赤潮(東京湾)  
©海上保安庁 海洋情報部



あかしお とうきょう湾  
青潮(東京湾)  
©海上保安庁 海洋情報部

## 命を支える水

地球温暖化によって気候の変動が起こり、水のじゅんかんが変化し、干ばつや大雨、洪水や台風などの自然災害が増えています。

日本では水道のじゃ口をひねれば、いつでも水が出ますが、世界には雨が少なく、深刻な水不足が起きている国がたくさんあります。

オーストラリアでは、2002年に大干ばつによる水不足で小麦粉などの収穫量がいつもの年の半分まで落ちこみました。その後も水不足は解消されていません。



干ばつによってひびわれた沼地。  
(オーストラリア・クィーンズランド州)  
© Biosphoto / Mafart-Renodier Alain/BIOSphoto/Still Pictures

## 水についてのクイズ

① 地球上にある海水と淡水（塩分をほとんどふくまない水）の割合は？

答え

② 淡水のうち、氷になっているのは？

答え

③ 生活に利用できる水は、どれくらい？

答え

命を支える水の働きについて、学校やおうちで話し合い、気づいたことを書きましょう。

- ・毎日使う水はどこへ流れる？
- ・川や海をよごさないようにするために私たちができることは？